

ー 目標Ⅰ. みなとの静穏度と安全性の向上に向けた技術開発 ー

●港湾の新しい姿を実現するための先駆的取り組み

3. 経済的・効果的な防波堤断面構造の開発

～ 防波堤の効率的な整備促進を目指した開発 ～

■開発の背景

東北管内の防波堤は、波浪条件が厳しいことから大断面になる傾向が多く、整備費用の増大を余儀なくされています。

建設コストの縮減による整備促進を目標とし、平成8年度より、新形式防波堤の一つである「半没水上部斜面ケーソン堤」の開発が進められ、平成13年度までに開発を終えましたが、この形式は比較的地盤の良好な箇所への適用が条件となっています。

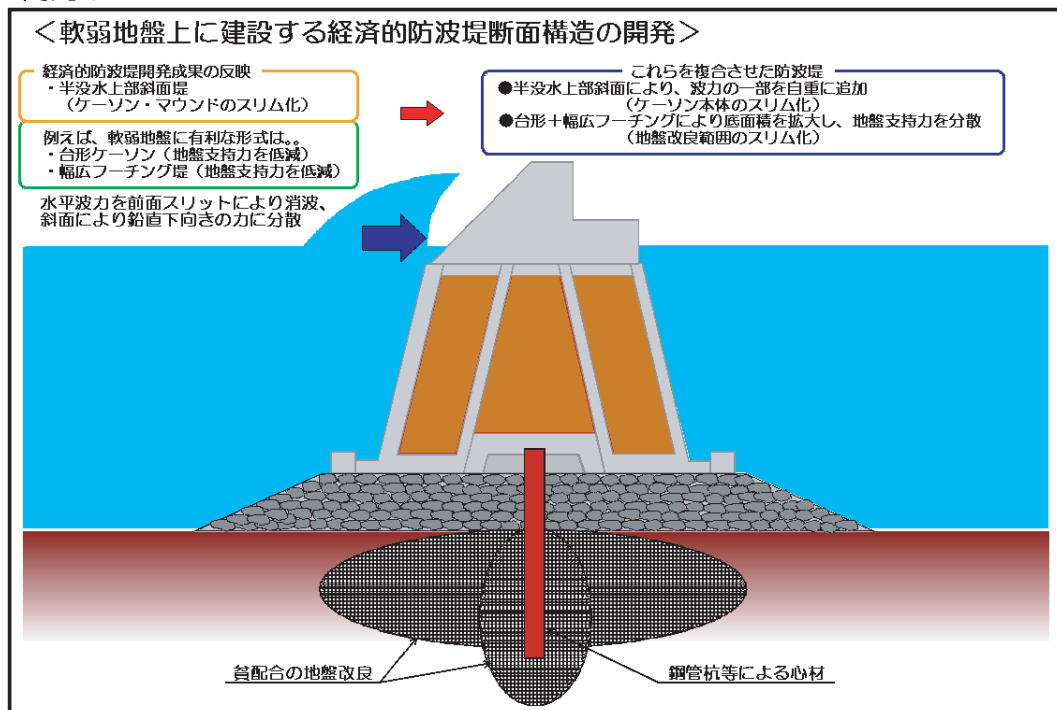
今後、整備位置は必ずしも地盤が良好な箇所ばかりではありません。

そこで、軟弱地盤上に対応でき、大水深・高波浪域でも対応が可能な、新たな経済的防波堤の開発が必要となっています。

■開発の目的

防波堤建設のコスト縮減と整備促進によるみなとの静穏度と安全性の向上

■開発イメージ



■開発の目標

従来の防波堤形式（直立混成堤）と比較して10%のコスト縮減
軟弱地盤上にも対応可能な新たな経済的防波堤の開発

■開発項目

- 半没水上部斜面ケーソン堤の開発
- 半没水上部斜面ケーソン堤の設計・施工指針（案）の作成
- 軟弱地盤対応の経済的な防波堤の開発
- 選定断面の経済性比較・詳細検討